



いなべ、暮らしを旅する





INABE LOCAL TRIP



contents

004

HOW IS THE LIVING IN INABE?

いなべ、暮らしを旅する

012

FUJIWARA DRIVE

秘境？ 味のある店、のどかな風景 藤原ドライブへ

016

AGEKI-SHOKUDO STORY

上木食堂物語

021

INABE SOUVENIR

買うならこれ。いなべのお土産

022

LET'S GO TO THE FARM STAND

新鮮、おいしい 産直〈うりぼう〉へ行こう

FARMER INTERVIEW 多湖農園

URIBOU SHOPPING 〈うりぼう〉でお買い物

026

INABE RESTAURANT & CAFE

居心地よい レストラン&カフェ

COLUMN **こだわりのお店**

030

SIGHTSEEING SPOT

おすすめ立ち寄りスポット

NATURE ACTIVITY

もっと自然を遊ぶ！

032

INABE MAP **いなべ市全域マップ**

034

ACCESS **いなべ市へのアクセス**



HOW IS THE LIFE



LIVING IN INABE?

いなべ、暮らしを旅する

鈴鹿山脈と養老山地に挟まれ、古くは交通の要所だった三重の最北のまち。
人口4.5万人のいなべ市には、名だたる史跡や世界遺産はないけれど、
四季を奏でる美しい自然と、先人たちが大切に紡いで今へ受け継がれてきた、
ここにしかない暮らしの風景に出会えます。



いなべには豊かな自然と
寄り添って暮らす人たちがいます。

“寒桃の里”として知られる集落、鈴原。
安田佳弘さんはこの地で猟を生業に、雑貨
と喫茶のお店〈MY HOUSE〉(P. 29参照)
を営んでいます。自給自足の生活ができ
るのは、いなべの自然と、人とのつながり
があるからこそ。





ちょっぴり控えめだけど温かくてやさしい
地元の人たちが迎えてくれます。

6代続く〈大兵材木店〉は、木造建築の設計・施工だけでなく、個人所有の山や庭木の切り出しなど、木や家にまつわることのホームドクター的存在。林洋見さんは、古民家再生や遊び心たっぷりの小屋の製作も行っています。





時間が止まったかのような
ノスタルジックなまち並みがあります。



濃州街道の宿場町として栄えた、阿下喜地区。いなべの人が「町」といって親しむこのエリアには、木造の旧校舎や商店街など、初めて訪れたのに懐かしさを感じてしまう、昔ながらの風景が残っています。



ここには何もないから……、と言ってしまうのは簡単です。

だけど何もない場所なんて、ありません。

いなべには、季節の移り変わりを感じさせてくれる自然が贅沢なくらいあって、

自然の恵みをたっぷり受けた人々の暮らしがあります。

都会では真似することのできないその暮らしぶりは、

“何もない状態”とはほど遠く、さまざまな恵みから、自分たちでつくり出しているもののなのです。

本当の豊かさを教えてくれる、いなべの暮らしを旅してみませんか？





地産地消はもちろん“友産友消”も
できてしまう贅沢な食卓。

ここで暮らしている人たちは、いなべの大地で育まれた農産物がどこよりもおいしいことを知っているから、地産地消は当たり前。それよりももっと狭い“友産友消”を実施している人たちもいるほどです。



FUJIWARA DRIVE



秘境？ 味のある店、のどかな風景

藤原ドライブへ

藤原岳の麓に位置する北部の藤原町には、貴重な植生や昆虫が生息するなど、自然豊かで素朴な風景が広がっています。土地に根づく、こだわりのお店やスポットも。のんびりドライブに出かけませんか？





6次産業という言葉が一般的になる前から、それを実践してきたお店。手づくり和菓子をメインに、野菜や果物、手芸品なども販売。

10:00

手づくり菓舗 えぼし



味もセンスも品揃えも光ってます

国道365号を北上して岐阜との県境近くにある、峠のお茶屋さんのようなたたずまいが目印。看板商品の草餅は自社でつくったもち米と、地元のよもぎをメインに使用。藤原町古田地区に伝わる、昔ながらの素朴なおいしさです。振り込め詐欺撲滅を目指して考案された黄身餡のお饅頭「振り込まん」など、味だけでなくセンスもキラリ。



縄文の味? カヤの実

日本古来のナッツ、カヤの実。いなべではおきに使われることが多いのですが、ローストしたものをそのまま食べたり、料理に使っても。独特のフレーバーで新発見の味!



Information

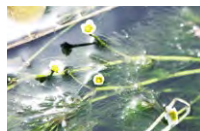
手づくり菓舗 えぼし

📍 いなべ市藤原町古田1152-1
☎ 0594-46-2448
🕒 9:00~17:00 水曜日

11:00 車を降りてあぜ道を散歩



えぼしの裏手に回ると、左ページのような思わず深呼吸をしたくなる、のどかな農村の風景が広がっています。あぜ道を歩いてみると、車窓からとは違った風景が見えてくるはず。季節によっては農作業をしている人や、清流で野菜を洗う人など、古田地区の暮らしを垣間見ることもできます。



- ◀ 田んぼの横を流れる清流で、採れたての里芋を洗う姿も。
- ▲ 自生するセリやバイカモの花が水面に揺れています。



(左) 遠方から訪れるそば好きを唸らせる、本格そば。使う野菜はほぼ自家製。(右) ふわふわしてなめらかな、そばがき。

12:00

山里乃蕎麦家 拘留孫

くるそん



拘留孫岳の麓で本格そばを堪能

いなべの特産として注目されているそばを、“挽きたて・打ちたて・茹でたて”で食べられる貴重なお店。市役所を早期退職して店を始めたご主人の松下祐康さんが打つそばは、香り豊かでとても繊細。天ぷらや、そば粉を使ったデザートなどは、奥様の清子さんが担当。祐康さんが太鼓判を押すだけあり、こちらも絶品です。



Information

山里乃蕎麦家 拘留孫

📍 いなべ市藤原町篠立771-2 ☎ 0594-46-3181
⌚ 11:30~14:30 ※なくなり次第終了 水・木・金曜休



14:30 ふたつの猿の話

平安初期に創建された鳴谷山聖宝寺と、その守り神とされる鳴谷神社は、ともに猿と縁が深いことで知られています。鳴谷神社には狛犬ではなく、「マサル」という狛猿が参道の両側に鎮座していて、「勝る」や「魔が去る」ものとして敬われています。一方、神社の脇の石段を上ったところにある聖宝寺には、「猿の恩返し伝説」が。村の流行り病が収まるように、伝教大師がお告げに従って寺を建てていたところ、以前助けた猿が手伝ってくれたそうです。

Information

鳴谷神社

📍 いなべ市藤原町坂本84-2

鳴谷山聖宝寺

📍 いなべ市藤原町坂本981
☎ 0594-46-8101



鳴谷神社



13:00



喫茶・軽食 山びこ

地元民が集う、
公民館のような喫茶店

拘留孫から徒歩数分のところにあるので、コーヒー休憩におすすめ。朝から地元客でにぎわう店内は、レトロなゲーム台のテーブルに、コーヒータケットが壁にかかり、ノスタルジックな雰囲気。コーヒータケットに、のんびり過ごせます。



国道365号沿いを走っていると見える、店頭の大きなタヌキが目印。

Information_

喫茶・軽食 山びこ

📍 いなべ市藤原町篠立1098
☎ 0594-46-3044
🕒 09:00~20:00 金曜休

14:00

ふじのいち

藤原町の朝市が
お店になって再登場

藤原町立田地区で毎週日曜日に行われていた朝市「ふじのいち」が、常設店舗として復活。添加物なし、国産材料のみ使用の焼きたてスイーツやピザ、ほかには農産物や漬物などを販売。季節のスイーツなども味わえます。



店舗内のキッチンでつくられるスイーツは、つくり手のやさしさが伝わる味。

Information_

ふじのいち

📍 いなべ市藤原町篠立3387-1
☎ 0594-37-2323
🕒 10:00~16:00 火曜休

16:00

カフェ アタント

cafe Attente

木の温もりを感じながら
ほっとひと息

サイクリストや常連客でいつもにぎわっている、ログハウス風のカフェ。店内にある薪窯で焼いた手づくりパンは、ふんわり柔らかく、やさしい味わい。気候のいい時期は、ウッドデッキで風を感じながら一服するのがおすすめ。パンはテイクアウトもOK。

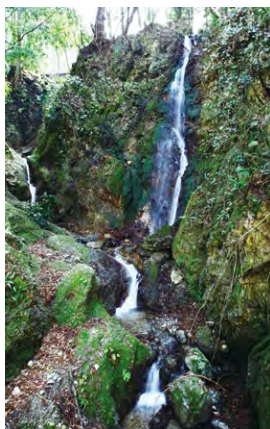


写真は野菜スープ、サラダ、パンがセットの日替わりランチ。スイーツも充実。

Information_

cafe Attente

📍 いなべ市藤原町山口1950-1
☎ 0594-46-4800
🕒 09:00~17:30 水曜、第1火曜休



鳴谷滝



鳴谷山聖宝寺



(左) 母猿は子どもの猿を抱えています。(中) 伝教大師がこのそばに寺を建てるよう、お告げを受けたといわれる鳴谷滝。(右) もみじ祭りでも有名な聖宝寺。猫の楽(らく)も人気者です。



喫茶

北勢町

上木食堂

居酒屋 一斗二升五合



濃州街道の宿場町として多くの往来があった阿下喜地区。岐阜から運ばれてくる木材の荷上げを行っていたことから、かつては“上木”と呼ばれ、食堂名の由来に。

A KI-SHOKUDO STORY

上木食堂物語

阿下喜地区にある旅館を再生してできた上木食堂。
旅館の持ち主、オーナーとなった農家、名古屋から移住して
きた店長、それぞれの思いが詰まった場所になりました。



八風農園の自然栽培の野菜を
たっぷり使った日替わりランチ。
昼も夜もメニューは基本的に野
菜の収穫の状況次第。何がある
かはその日のお楽しみ。

「どんなお客さんが来るのか、まったく予想がつかなかったけど、自分がほしかったからつくっちゃいました」と話すオーナーの寺園さん。店頭では、八風農園の野菜も販売しています。



寺園風さん



いなべにこんな場所がほしかった

ランチタイムは、小さな子どもを連れたママたちや、ちょっぴりおめかしをした中高年の女性などが集い、夜になるとボトルキーブをしている常連のおじさんの横で女子会が繰り広げられる〈上木食堂〉。入り口横のコンパクトな厨房に店長の松本耕太さんが立ち、この建物の大家さんでもある林典子さんが料理を運んでいます。「ここはもともと、100年以上続く旅館だったんです。宿泊客のメインは行商の薬屋さんで、その方たちの使う自転車が入り口の土間にずらりと並んでいました」と林さんは子ども時代の様子を振り返ります。

しかしながら1990年に林さんの両親が旅館を閉じてしまっていて以来、廃屋となって老朽化が進み、解体を検討していました。そんな折に、「壊すつもりならこの場所で食堂をしたい」と手を挙げたのが、藤原町で農業を営む〈八風農園〉の寺園風さん。「自分のつくった野菜を使い、しかも気軽に仲間が集えるような店が、いなべにほしい」と常々思っていたのです。寺園さんが店を任せることにしたのが、野菜の直売イベントを通して知り合った、名古屋のカフェに勤務する松本さんでした。

大がかりな改築を経てオープンにこぎつけたのは、



林典子さん

松本耕太さん



旅館だったこの場所には、薬の行商人が3か月～半年くらい滞在していたそう。右写真には、そんな昭和のにぎわいと、当時の姿が写っている。



「オープン当初からやりたかったことが、ようやくかたちになってきました」と松本さん。

2016年11月。ここにあったものを使ったほうがしっくりくるからと、林さんのお母さんが使っていた裁ち台や、各客室にあった作業机、さらには林さんの落書きが残る勉強机など、家具や建具も可能な限り再利用。「息子には止められたけど、強引に手伝わせてもらうことにしたんです」と恥ずかしがりながら、家族の思い出の詰まった場所で働く林さんはとても嬉しそうです。

「典ちゃんがいるおかげで、僕ひとりではやっていられなかったであろう地元の方も、たくさん来てくれるんです」と松本さん。かつての姿を知る人も知らない人も、こんなお店をずっと待っていたのかもしれない。

Information_

上木食堂

📍 いなべ市北勢町阿下喜2057 ☎ 0594-82-6058

🕒 11:30~17:00(喫茶)、17:00~22:00(居酒屋)

水曜、第1・3木曜休



いなべ産の野菜や卵を使ったデザートも人気。写真は「ゆうき農園のキャロットケーキ」

買うならこれ。いなべのお土産

いなべの豊かさをおすそ分けするなら、こんなお土産はいかがですか？



いなべのお土産 ①

いなべプリン店のプリン

鈴鹿で喫茶店を営んでいた日置愛彩さんが、子育てをしながらできるスタイルを模索して生まれた手づくりプリンのお店。地元のいっちゃんたまごと県産の大内山牛乳を使った「カリカのプリン」は、懐かしい味わい。自宅の軒先で看板息子と一緒に、月2回販売中。

Information_

いなべプリン店

📍 いなべ市大安町門前994
✉ karika2012@me.com
🕒 10:00～17:00 ※売り切れ次第終了
第2・4日曜のみ販売



いなべのお土産 ②

いっちゃんたまご

伊藤一男（いちお）さんのつくるいっちゃんたまごは、黄身が昔ながらの黄色で、独特の甘みがあると評判。おいしい卵づくりに情熱を捧げる一男さんを支えるのは、営業担当で元氣いっぱいのお母さん。国道306号とミルクロード沿いに自動販売機も。

Information_

いっちゃんたまご（伊藤いち男養鶏場）

📍 いなべ市大安町字賀453
☎ 0594-78-2249
🕒 10:00～15:00 無休
※遠方から来られる場合はお電話ください



いなべのお土産 ③

マル信 緑香園のお茶

石柵峠の麓で、140年前からお茶づくりに専念しているマル信 緑香園。いなべのお茶を使った「いなべの茶っぶりん」の生みの親である伊藤典明さんは、飲むお茶はもちろん、お菓子や入浴料など、日本人に欠かせないお茶が、さらに身近になるような商品をつくっています。

Information_

マル信 緑香園

📍 いなべ市大安町石柵南2225-2
☎ 0594-78-0027 🕒 9:00～19:00 不定休



いなべのお土産 ④

松寿園菓子舗のお餅

店主の田中正春さんいわく、昔は阿下喜だけでも8軒くらい和菓子屋があったそう。お店の一角にはそんな時代が偲ばれる貴重な菓子づくりの道具が飾られています。たがね餅は、もち米とうるち米を合わせたもの。赤キビ、黄キビ、ヨモギで色づけされたカラフルなものも。

Information_

松寿園菓子舗

📍 いなべ市北勢町阿下喜1999-1
☎ 0594-72-2330 🕒 7:00～19:00 水曜休





LET'S GO TO THE FARM STAND

新鮮、おいしい 産直〈うりぼう〉へ行こう

三岐鉄道北勢線大泉駅の隣にある「ふれあいの駅 うりぼう」には、新鮮でおいしい野菜、果物、加工品などのメイド・イン・いなべが一堂に会しています。いなべの食の豊かさを感じられる場所へ。



FARMER INTERVIEW

多湖農園 多湖文貴さん

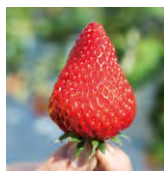
いちごはもともと、いなべの特産品ではなかったものの、今では多くの人が旬を待ち焦がれる味に。「実を言うとゴツゴツした形のほうが甘いんですよ」と説明する多湖さん。ハウスで直売も。

「食べてくれた方の言葉や笑顔は励みになります」

「あー、甘いなあ!」、自ら摘んだ大きないちごを頬張った瞬間、満足そうにつぶやいた多湖文貴さん。うりぼうに出荷している多湖さんは、いちごとお米の農家です。いちごは、実が柔らかくてやさしい甘さの「章姫」と、ジュースでほのかな酸味のある「紅ほっぺ」というふたつのブランドを生産しており、いちご狩りの観光農園も行っています。病気や害虫に弱いいちごは、手をかけて強い苗を育てることがとにかく大事。天候などに合わせて日々の水分調整も欠かせません。「生き物なので毎年状態が違うし、これでいいやと思うと、すべての作業がおろそかになってしまいそうなので、改良は止まりません」。そうやって慈しむように育てられたいちごは、まさに箱入り娘。

実を言うと多湖さんは、かつて料理人を目指していました。勤め先の飲食店が使っている両親の栽培したお米やいちごを、お客さんがおいしそうに食べているのを見て、家

業を継ぐことを決意。お米はコシヒカリとミルキークイーン、マンゲツモチを生産。稲穂の一本まで大事に育てるという意味を込め、父・一(はじめ)さんの名前を取って、「はじめの一穂(いっぽ)」というネーミングに。「水が豊富で土質もよいこの地域では、レベルの高い農作物を生産できます。農家としていいものをつくることで、いなべの価値をどんどん上げていきたいですね」。産直は、消費者にとって顔が見える安心感につながりますが、生産者にとっても直接感想を聞くことのできる、貴重な場所になっています。



Information_

多湖農園

📍 いなべ市員弁町大泉新田326

☎ 0594-74-2581

🕒 9:00~17:30

※いちご狩りは要予約。

実施期間は1月~6月初旬までの

10:00~11:15、13:00~15:00 火曜日



FARM STAND

いなべ農産物直売所 ふれあいの駅 うりぼう

いなべのおいしさ、選り取りみどり

2005年4月にオープンした「ふれあいの駅 うりぼう」は、バラエティに富んだ食材の地産地消に早い時期から取り組んできました。「員弁町は何もないところだったので、自分たちでどうにかしたいと思い、生産者と協力して始めました」と話すのは、代表理事の日紫喜淳さん。

当時は冬場に農産物が品薄になったため、加工品にも力を入れてきた結果、調味料やお菓子、お惣菜類なども充実。さまざまなイベントを実施したり、チャレンジ農園と称して農業に興味のある市民をサポートするなど、いなべの農業の未来も考えているお店なのです。



(左)「地域のため」を常に考えている日紫喜さん。(中・右)販売している全商品に、生産者名を表示。お土産にしたい農産物加工品も多数揃っています。

URIBOU SHOPPING

〈うりぼう〉でお買い物

数ある商品のなかから、イチオシをピックアップしてみました。



赤軸ほうれん草

一般的なほうれん草よりもアクが少ないのが特徴の赤軸ほうれん草は、生で食べるのがオススメ。サラダにすると、彩りも鮮やか。



人参サラダ

にんじん嫌いの子どもがモリモリ食べると評判の「洋食家さくら」の看板メニューが、デリに。にんじん好きも、もちろんどうぞ。



フルーツマト

濃厚な甘さとうま味が、小さな粒のなかにギュッと詰まったフルーツマト。もぎたてのみずみずしさが、口いっぱいに広がります。



ミルクークイーン

いなべのお米といえば、こちらのブランド。粘りの強いもちりとした食感で、冷めてもおいしいのでお弁当やおにぎりにもぴったり。



古代米

黒米を使った加工品を販売する「米童里夢」の黒米と、大安町産の赤米「大安桜米」。白米と一緒に炊く以外にも、使い方はいろいろ。



「うりばへの」のジェラート

牛乳はもちろん、果物や野菜もいなべ産がメイン。卵不使用、低カロリーのアイスです。季節によって変わるフレーバーが楽しい！



さくらポーく

いなべで唯一、豚肉を生産・販売している松葉ビッグファーム。ほのかな甘みを感じる上質な豚肉は、一度食べたらクセになります。



お惣菜

いなべのお母さんの味をイメージさせるような、素朴なおいしさ。郷土ならではの惣菜も。ドライブのおともに、いかがですか？



切り花

入り口付近でお迎えしてくれる、季節の切り花。冬場もリーズナブルに買うことができるので、地元の人には特に人気です。



体験教室も実施中！

うりぼうでは、そば打ち体験教室や惣菜部の鳥巣さんの料理教室など、毎月さまざまな体験教室が開かれています。詳しくは、HPのうりぼう新聞をご確認ください。



Information_

いなべ農産物直売所
ふれあいの駅 うりぼう

い いなべ市員弁町大泉2517
☎ 0594-74-5866
🕒 8:30~17:00 火曜休

居心地よい

レストラン&カフェ

豊かな食材に恵まれるいなべ市には、
洋食やフレンチ、地元民に人気のスイーツ店まで、
さまざまなお店がオープンしています。
のんびりと、心地よい時間を過ごしてみては。



いなべの特産〈石樽上煎茶〉の
口当たりのよいムースに、黒糖
ゼリーと生クリームを乗せた、
こんま亭の「ふわり濃い茶」。

居心地よいレストラン&カフェ ①

Pâtisserie Café こんま亭

いなべならではのケーキがズバリ

地元客でいつもにぎわうケーキ屋さん。看板商品「いなべのキャベツ」は、通常よりひと回りもふた回りも大きい、パイで包んだシュークリーム。ほかにも、毎月異なる季節のクリームを使ったモンブラン「いなべのお山」など、大きなサイズにこだわるのは、幸せをみんなで共有してほしいから。「誕生日は365日あるので、年中無休にしているんです」と「ヒゲの店長」ことオーナーパティシエ・駒田貴志さんの愛情溢れる言葉がお店の人気を物語っています。

Information_

Pâtisserie Café こんま亭

📍 いなべ市大町石榑東1217-1 ☎ 0594-78-1649
 ① 10:00~19:00 年中無休 ※年末年始の営業時間は変則的



できたてのケーキを食べられるカフェスペースも。(左下)「いなべのキャベツ」はカットせずに、上からフォークで崩してみんなで食べるのがポイント。



居心地よいレストラン&カフェ ②

cafe+zakka fuu

アットホームな和みの空間

食事、お茶、インテリア、そして雰囲気も、手づくりこだわったカフェ。ほどよくレトロな空間には、アンティークやジャンクな雑貨が飾られて、友だちの部屋に遊びに来たみたい、に、ゆったりくつろぐことができます。ランチは多品目の野菜を使ったお惣菜が人気の「A 気ままにランチ」と、肉や魚を使わないソイミートの丼をメインとした「B お手軽ランチ」が人気。

Information_

cafe + zakka fuu

📍 いなべ市員弁町東一色1760-2
 ☎ 0594-74-6858
 ① 9:00~16:30 日・月・火曜日

生まれ育ったいなべの自然のなかでカフェをしたい、という思いから2015年にオープン。モーニングや日替わりのスイーツも要チェックです。



(上)「さくらポークのソテー バルサミコソース」。野菜はゆうぎ農園など、地元産がメイン。「おいしい野菜の生産者が増えて、選べる楽しさがあります」

居心地よいレストラン&カフェ ③

Simple 洋食家さくら

開放的な空間で、贅沢な洋食を

名古屋出身のオーナーシェフ・平野孝幸さんが2000年にいなべで始めた洋食店。人気のハンバーグやスパゲッティをはじめ、ボリュームたっぷりのメニューで、誕生日や記念日など特別な日に利用する人も多いそう。ヘアサロンをイメージした店内は、大きな窓が開放的。テーブル席からは、広々としたキッチンの様子を眺めることも。「いなべは人のつながりが大事」と話すように、今ではすっかり地元の人に愛されるお店になっています。

Information_

Simple 洋食家さくら

📍 いなべ市員弁町岡丁田2112-7 ☎ 0594-74-5251
 ① 11:00~15:00(14:00LO)、17:00~22:00(20:30LO)
 火曜休 ※祝日の場合は営業

居心地よいレストラン&カフェ ④

ビストロ シェ スギ

自家野菜を使った本格フレンチ

大阪と愛知で修業した後、地元で店を開く夢を実現させた、オーナーシェフの杉本佳津男さん。1997年にオープンした、いなべでは老舗の本格フレンチです。使っている野菜の多くは自家栽培。ハーブや果樹などを含め年間100種類ほどつくっていて、そのときの収穫の状況に応じて、アイデア溢れるメニューを提供。ハレの日にご利用したい、落ち着いた雰囲気のお店です。

Information_

ビストロ シェ スギ

📍 いなべ市北勢町麻生田1439-2
 ☎ 0594-72-7777 ① 11:30~14:00、17:30~20:30
 (ディナーは要予約) 火曜休



ランチ、ディナーともにコースのみ。前菜、スープ、メイン、デザート、ひと皿ごとに感動しつつ、トータルで大満足。奥様の接客にも和みます。



居心地よいレストラン&カフェ ⑤

MY HOUSE

山の麓で大きく深呼吸！

大阪から移住した安田佳弘さん・真紀さんご夫婦が営む、雑貨と喫茶のお店。並んでいる雑貨は、木、竹、種、動物の骨など自然素材を使って、手づくりしたものがほとんど。カフェでは、自家製のはちみつや梅を使ったドリンクのほか、猟師でもある佳弘さんが仕留めたシカやイノシシが出ることも。お店の窓から見える景色は、季節ごとに通いくなる開放感です。

Information_

MY HOUSE

📍 いなべ市北勢町新町1333 ☎ 0594-72-4311

🕒 11:00~17:00 火・水・木曜休



(上) 手づくりのもので溢れる店内。(左下) シカの角でつくった人形(角偶)。(右下) ヤギやニワトリが迎えてくれる、お店へのアプローチ。

COLUMN

こだわりのお店

暮らしのシュレ



“人”にこだわるセレクトショップ

西町通り沿いの呉服屋のなかにあるこのセレクトショップは、東日本大震災で栃木県的那須から一時避難していたいなべ出身のオーナーが、故郷の人とのご縁でオープン。そんな成り立ちだからか、置いているのも“人から入ったモノ”がメイン。雑貨を中心に野菜や焼き菓子など、つくり手の思いや表情が浮かぶような温かなアイテムが揃っています。

Information_

暮らしのシュレ

📍 いなべ市北勢町阿下喜1446 ☎ 090-6768-7405

🕒 9:00~14:00 ※土・日曜は営業時間が変則的
水・木曜休



(上) 阿下喜に拠点を移した、家具工房(QUALI)のキッチンツール。(左下・中下) 大兵材木店のご夫婦(P.8参照)作のニット小物と小屋。

おすすめ立ち寄りスポット

まだまだあります、いなべのおすすめ立ち寄りスポット。フリースタイルで楽しみましょう。



地場農産物も、全国のいいものも

1. いなべっこ

JAみえきたが直営する産直。いなべ産の農産物が揃うほか、全国の提携ファーマーズから直送された農産物加工品も多数あり、さまざまなフェアを開催しています。食育ソムリエが、旬の食材を店頭で料理して振る舞う「いなべっこでてがるっこ」も人気です。

Information_

📍 いなべ市北勢町阿下喜1911
☎ 0594-82-1147
🕒 9:00~18:00 火曜、お盆、年末年始休



ロケーション抜群のユニーク駅舎

2. 西藤原駅

三岐鉄道三岐線の終着駅で、三重県の鉄道駅では最北端に位置する駅。蒸気機関車をモチーフにした駅舎がユニーク。隣接する西藤原駅前公園には、三岐鉄道で活躍した車両などが展示されています。藤原岳登山口まで徒歩10分、周辺の自然もダイナミック。

Information_

📍 いなべ市藤原町大貝戸336
☎ 0594-46-2806



天然温泉でホッとひと息

3. 阿下喜温泉 あじさいの里

健康増進とリラクゼーションをテーマにした、地元の人でにぎわう天然温泉。阿下喜駅からもアクセスしやすいので、遊んだあとやちょっとひと息つきたいときに、気軽に汗を流せます。かけ流し方式のアルカリ性単純温泉で、広々とした内風呂のほか露天風呂も。

Information_

📍 いなべ市北勢町阿下喜788
☎ 0594-82-1126 🕒 11:00~21:00
(最終受付20:30) 木曜休、年末年始、
その他メンテナンスに伴う臨時休業あり



多彩なキャンプスタイルが魅力

4. 青川峡キャンプパーク

青川と鈴鹿山脈の雄大な自然に囲まれた、高規格キャンプ場。オートキャンプ、コテージ、ログハウス、全天候型BBQ施設など設備が充実しているので、ファミリーはもちろん、キャンプ入門者や女性同士でも楽しめます。いなべの新鮮な食材を使った自炊もオススメ。

Information_

📍 いなべ市北勢町新町614
☎ 0594-72-8300
🕒 9:00~17:00



休日をはのんびり過ごすなら

5. いなべ公園

員弁大池のほとりにある、約23.84haの公園。ピクニック広場やトリム広場など4つの広場があり、散歩をしたり遊具で遊んだり、思い思いに過ごす人にぎわいます。五重塔の形をしたシンボルタワーはなかなかの存在感で、いなべの眺望を楽しむことができます。

Information_

📍 いなべ市員弁町楚原1303-1
☎ 0594-74-5476(いなべ公園管理棟)
🕒 9:00~18:00(4月~9月)、~17:00
(10月~3月) 月曜、12月31日~1月3日休



鈴鹿山脈を一望する梅の名所

6. 梅林公園

荒廃農地を有効活用した、いなべ市農業公園内にある梅林公園。38haの広大な敷地に植えられているのは、東海エリアでは最大級となる100種類、約4000本もの梅。春の訪れを告げる梅まつりの期間中は、色とりどりの花が咲き誇り、夢のような光景が広がります。

Information_

📍 いなべ市藤原町717
☎ 0594-46-8377(いなべ市農業公園)
🕒 9:00~17:00



手づくりをお手軽にテイクアウト

7. こまめcafe

2015年3月に現在の場所に移転して、テイクアウト販売に。おすすめは、豆乳でつくる「こまめパンケーキ」と野菜のみでつくったベジフライをサンドした「こまめワッフル」。できあがるまで雑貨を見たり、本を読んだりしながら、ゆったり待つのが楽しいお店です。

Information_

📍 いなべ市北勢町中山151-14
☎ 0594-72-7477
🕒 11:00～17:00 水曜日
※売り切れ次第閉店



素朴でやさしい味わいのパン

8. おやつハウス

とにかくパンが大好きな店主が「人にも食べてもらいたい」という思いから始めた、無添加のパン屋さん。天然酵母と国産小麦で焼き上げるパンは、素朴な味わい。パンに使っている野菜も自家製にこだわっています。食パンや塩パンなどシンプルなものが人気。

Information_

📍 いなべ市大安町丹生川久下1184
☎ 0594-78-2046
🕒 08:00～17:00 水・金・土曜のみ営業



いなべの食材を生パスタで

9. パスタ家POPO

王道から創作まで、お好みに合わせて選べるパスタ屋さん。自家製ベーコンやジェノパソースなど手づくりこだわった素材をふんだんに使用しています。ポポ畑と称してお店の裏で野菜の栽培も。もっちりとした食感の生パスタは専門店ならではのおいしさ。

Information_

📍 いなべ市員弁町楚原868-6 ゼンパーク1F
☎ 0594-74-5750 🕒 11:00～14:00、
17:00～21:00 火曜日 ※土・日・祝日
のランチは～15:00、月曜ランチのみ



熟練シェフによる旬のイタリアン

10. trattoria tomato

シェフの田坂清市さんは1978年に名古屋でお店を始め、よりよい食材を求めていなべに移転。1995年にこの地でイタリア料理店をオープンしました。無農薬の自家製野菜を使用。家族を思いつくるイタリアのマンマの味のように、愛情いっぱいの料理です。

Information_

📍 いなべ市員弁町畑新田135-2
☎ 0594-74-5541
🕒 11:30～14:30、17:30～21:00 火曜日

NATURE ACTIVITY もっと自然を遊ぶ！



竜ヶ岳

山頂一帯に平原が広がる、1099mの山。ササが多く茂り、山頂からはいなべのまち並み、伊勢湾、濃尾平野などを見渡すことができます。宇賀溪の滝めぐりもおすすめ。



藤原岳

鈴鹿国定公園内でも人気の登山スポット。標高1140m。「花の百名山」として紹介されていて、特にフクジュソウが咲く3月～4月は多くの登山者でにぎわいます。



藤原岳自然科学館の自然教室

1年を通じて自然教室を開催している藤原岳自然科学館。野山で動植物を観察したり、標本のつくり方を学習したり、季節感のあるプログラムです。小学生以下は保護者の同伴が必要。



サイクルツーリズム

2015年から開催している国内最高峰の自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」を契機に、飲食店などにサイクルラックを置き、サイクリングを楽しめる環境を整備しています。

INABE MAP

いなべ市全域マップ

この冊子で紹介している、すべてのスポットをマッピングしました。藤原、大安、北勢、員弁と4つのまちが合併したいなべ市は、東西南北に広く、市内の移動に車で30～40分かかる場合もあるのでご確認を。



AGEKI AREA

いなべっこ P.30



松寿園菓子舗 P.21

暮らしのシュール P.29

上木食堂 P.16

阿下喜温泉
あじさいの里 P.30



阿下喜駅

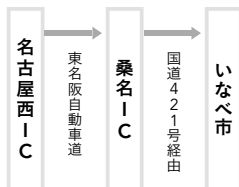


いなべ市へのアクセス

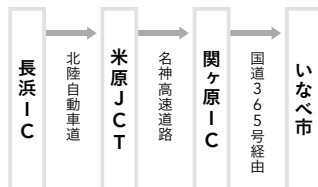
名古屋、関西からアクセスのよい、いなべ市。日帰りのドライブコースとしてもおすすめです。

 お車のご利用

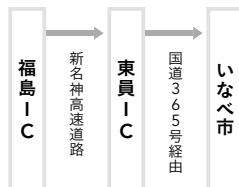
〈名古屋から〉約1時間



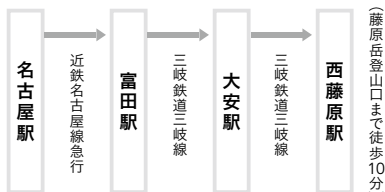
〈滋賀・長浜から〉約1時間10分



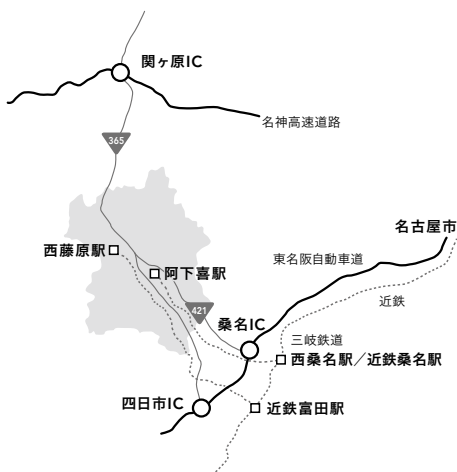
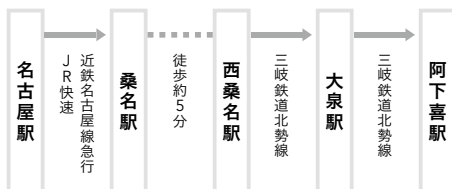
〈大阪市内から〉約2時間強


 電車のご利用

〈名古屋から西藤原、大安方面へ〉約1時間30分～2時間



〈名古屋から阿下喜、大泉方面へ〉約1時間30分～2時間



INABE LOCAL TRIP

2017年3月発行

publication_ INABE CITY

produce & editing_ MAGAZINEHOUSE COLOCAL

art direction & design_ KAORI OKAMURA

design_ AYA KANAMORI

photographs_ YAYOI ARIMOTO

writing_ IKUKO HYODO

illustration_ ADRIAN HOGAN

print_ SANNICHI PRINTING

co|local

この冊子に登場した方々の、さらに深いストーリーが
webマガジン「コロカル」で読むことができます。

詳しくはこちら→ <http://colocal.jp/>



カンビール
省明あす

カンビール
有ります
買って
ネ

三岐鉄道三岐線の終着西藤原駅の奥に続く線路の果て。ここから藤原岳登山口はすぐ。

INABE LOCAL TRIP

